

地域を支える中核病院での実習を通じて学んだこと

2024年7月の4週間、あがの市民病院で総合診療科の実習をさせていただきました。4週間の実習では、外来実習や、病棟での患者受け持ちなどを通じての治療方針決定に加え、退院に向けたリハビリテーションや退院支援計画のお話も聞かせていただき、地域住民の生活に強く根付いた医療を学びました。

高齢の患者さんが長期入院が必要にならないよう、内科的に投薬コントロールし、また長期入院になった場合にも、廃用症候群の予防のため「本人が意欲的にやる作業」を用意して、患者自身の治療モチベーションを向上させるリハビリテーションを行い、退院後も問題なく生活を続けられるよう考えることが重要だと感じました。

最後になりますが、直接ご指導頂いた先生方をはじめ充実した実習になるようサポートしてくださったスタッフの皆様に感謝申し上げます。

4週間大変お世話になりました。